

教育プログラム・コースの概要

大学名等	九州大学大学院薬学府臨床薬学専攻博士課程						
教育プログラム・コース名	がん創薬研究薬学コース博士課程						
対象職種・分野	薬学府臨床薬学専攻博士課程 大学院生						
修業年限（期間）	4年						
養成すべき人材像	薬理遺伝学・時間薬理学、希少がん、痛みなど緩和医療における創薬から育薬までを担う薬剤師、研究者及び指導者を養成する。これらを通じて、新たな治療法を開発できる人材（個別化医療・創薬研究を担う人材）を養成し、医療健康に貢献する。						
修了要件・履修方法	「先端医療薬学研究実験（がん研究）」の必修科目32単位、「先端医療薬学研究演習」、「臨床研究演習」、「臨床試験演習」、「腫瘍関連講義」、「腫瘍関連研究・実習」及び「創薬・臨床コラボ実習」の選択科目から8単位以上、計40単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。						
履修科目等	<必修科目> 先端医療薬学研究実験（がんおよび痛みなど緩和医療に関する研究）（32単位） <選択科目> 先端医療薬学研究演習Ⅰ～Ⅲ（各4単位）、腫瘍治療学Ⅰ～Ⅱ（各2単位）、腫瘍治療学実習（4単位）、創薬・臨床コラボ実習（4単位）、臨床研究演習（2単位）、臨床試験演習（1単位）						
がんに関する専門資格との連携	認定薬剤師（日本臨床薬理学会）の研修施設として認定。						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	平成24年度設置の薬学府臨床薬学専攻博士課程（4年間）において、がんの新たな治療法を開発できる人材（個別化医療・創薬研究を担う人材）を養成するためがんの基礎・臨床に関する研究、講義、演習及び実習を行う。						
指導体制	講義は、多職種との協働でチーム医療を醸成する。研究は、部局内の複数指導教員体制により実施する。						
修了者の進路・キャリアパス	薬理遺伝学・時間薬理学、希少がん、痛みなど緩和医療における創薬から育薬までを担う薬剤師、研究者及び指導者を養成する。医療現場・企業のがん領域で即戦力となる人材を養成することにより、がん領域における医療の質の向上や産業・経済の発展に貢献できる。これらを通じて、新たな治療法を開発できる人材（個別化医療・創薬研究を担う人材）を養成し、医療健康に貢献する。						
受入開始時期	令和6年4月						
受入目標人数 ※当該年度に「新たに」入学する人数を記載。 ※新規に設置したコースに限る。	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
	0	2	2	2	2	2	10
受入目標人数設定の考え方・根拠	過去の大学院志願者数から毎年度2人の志願者が見込まれるため、受入れ目標人数を2人と設定する。また九州地方の薬剤師の地域偏在解消を目的として、今後5年間で10人養成する。						